



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

上場会社名 株式会社 メディカルシステムネットワーク

上場取引所 東

コード番号 4350 URL <https://www.msnw.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田尻 稲雄

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員財務部長 (氏名) 平島 英治

TEL 011-613-7750

四半期報告書提出予定日 2021年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	78,167	△1.0	2,773	125.7	2,770	129.2	2,013	516.6
2020年3月期第3四半期	78,943	8.5	1,228	18.1	1,208	19.6	326	△12.3

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,003百万円 (659.0%) 2020年3月期第3四半期 263百万円 (△8.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	66.37	—
2020年3月期第3四半期	10.75	10.72

(注) 1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	66,300	11,119	16.7	366.00
2020年3月期	66,464	9,418	14.2	310.39

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 11,097百万円 2020年3月期 9,430百万円

(注) 自己資本、自己資本比率及び1株当たり純資産の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2021年3月期	—	5.00	—		
2021年3月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	△2.1	3,400	110.5	3,400	117.9	2,000	—	65.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年3月期3Q	30,642,600 株	2020年3月期	30,642,600 株
2021年3月期3Q	322,255 株	2020年3月期	261,115 株
2021年3月期3Q	30,336,063 株	2020年3月期3Q	30,381,485 株

(注)期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定方法については「※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項2」をご覧ください。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1.本資料に掲載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については【添付資料】P3「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2.四半期連結貸借対照表には、役員株式給付信託(BBT)及び従業員株式給付信託(J-ESOP)の信託財産として、株式給付信託が保有する当社株式が「自己株式」として計上されております。一方、1株当たり四半期純利益、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益、自己資本比率、1株当たり純資産、自己資本、期末自己株式数及び期中平均株式数(四半期累計)の算定については、上記の役員株式給付信託(BBT)の当社株式は自己株式に含めて算出しており、従業員株式給付信託(J-ESOP)の当社株式は自己株式とみなしておりません。なお、2020年3月をもって従業員株式給付信託(J-ESOP)の制度を終了しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における業績は、医薬品ネットワーク部門において新規加盟件数が概ね堅調に推移した一方で、調剤薬局部門において、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等により、処方箋応需枚数は減少いたしました。以上の結果、売上高は78,167百万円（前年同期比1.0%減）となりました。利益面につきましては、調剤薬局部門において、処方箋応需枚数減少の影響を受けたものの、安定供給が確保され経済性に優れた後発医薬品への切り替えの推進や、業務効率化、生産性の向上及び経費圧縮に取り組んだ結果、営業利益2,773百万円（同125.7%増）、経常利益2,770百万円（同129.2%増）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、2020年12月に持分法非適用関連会社の株式の一部を売却したことによる特別利益の計上があり、2,013百万円（同516.6%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、各セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

①地域薬局ネットワーク事業

本事業に関しましては、医薬品サプライチェーン全体に対する価値の提供を推進することを目指し、医薬品ネットワークによる薬局等の経営支援、調剤薬局の運営、医薬品の製造販売及びLINEを活用したデジタルシフト事業を行っております。

医薬品ネットワーク部門におきましては、一部大口顧客の脱退はあったものの、流通効率化へのニーズの高まりから、引き続き新規加盟件数は概ね堅調に推移いたしました。2020年12月31日現在の医薬品ネットワーク加盟件数は、当社グループ413件、一般加盟店5,332件の合計5,745件（前連結会計年度末比500件増）となりました。

調剤薬局部門におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等により、処方箋応需枚数が減少しましたが、安定供給が確保され経済性に優れた後発医薬品への切り替えの推進や、業務効率化、適正人員配置や残業の削減等の生産性の向上及び経費圧縮に取り組んでまいりました。2020年12月31日現在の店舗数は、調剤薬局413店舗、ケアプランセンター1店舗、コスメ・ドラッグストア9店舗となりました。

医薬品製造販売部門におきましては、良質で安価な後発医薬品の安定供給に取り組んでおり、2020年12月には、市場規模の大きな「プレガバリンOD錠」を発売いたしました。なお、2020年12月31日現在、33成分66品目を販売しており、今後はより一層の製品ラインナップ拡充を図ってまいります。

デジタルシフト部門におきましては、デジタル時代における「新たな医薬プラットフォーム」の創造を目指し、2020年10月1日に株式会社ファーマシフトを設立いたしました。なお、2020年12月31日時点では当社グループ調剤薬局にてテスト導入を行っている段階であり、2021年3月のサービス開始に向け準備を進めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は74,368百万円（前年同期比0.4%減）、営業利益4,329百万円（同56.6%増）となりました。

②賃貸・設備関連事業

本事業に関しましては、サービス付き高齢者向け住宅の入居件数が概ね堅調に推移したものの、新型コロナウイルス感染症の影響により、建築業務において一部の受注案件で延期が発生したこと等により、売上高は2,194百万円（前年同期比17.5%減）、営業利益34百万円（同49.0%減）となりました。

なお、サービス付き高齢者向け住宅の2020年12月31日現在の入居状況につきましては、全5棟のうち3棟は安定的な入居率を維持しております。残り2棟につきましては、「ウイステリア千里中央」は全82戸中63戸（入居率76.8%）、「ウイステリア南1条」は全116戸中77戸（入居率66.4%）であり、期末の入居率目標90%に向けて新型コロナウイルス感染症対策を講じた営業活動を行ってまいります。

③給食事業

本事業に関しましては、新型コロナウイルス感染症の影響により給食提供数が減少したことや、不採算施設の撤退等により、売上高は1,874百万円（前年同期比11.9%減）、営業損失2百万円（前年同期は営業損失38百万円）となりました。

④その他事業

本事業に関しましては、訪問看護事業を行っており、売上高は171百万円（前年同期比40.5%増）、営業損失17百万円（前年同期は営業損失56百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における資産の部は66,300百万円となり、前連結会計年度末に比べ164百万円減少しました。流動資産は21,641百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,062百万円の増加となりました。主な要因は、商品が増加したことによるものであります。固定資産は44,659百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,226百万円の減少となりました。主な要因は、建物及び構築物並びにのれんが減少したことによるものであります。

負債の部は55,181百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,864百万円の減少となりました。流動負債は24,673百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,377百万円の増加となりました。主な要因は、賞与引当金が減少したものの、買掛金及び短期借入金が増加したことによるものであります。固定負債は30,507百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,241百万円の減少となりました。主な要因は、長期借入金が増加したことによるものであります。

純資産の部は11,119百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,700百万円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年12月15日に公表した連結業績予想から修正しております。詳細につきましては、本日（2021年2月5日）公表の「2021年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,722	11,308
売掛金	2,313	2,785
債権売却未収入金	735	728
調剤報酬等購入債権	428	418
有価証券	10	—
商品	4,439	5,479
原材料	13	16
仕掛品	0	4
貯蔵品	79	80
その他	847	831
貸倒引当金	△12	△12
流動資産合計	20,578	21,641
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	13,885	13,381
土地	9,154	9,113
建設仮勘定	19	282
その他(純額)	2,067	1,831
有形固定資産合計	25,126	24,608
無形固定資産		
のれん	14,179	13,423
ソフトウェア	303	327
その他	131	123
無形固定資産合計	14,615	13,874
投資その他の資産		
投資有価証券	483	374
差入保証金	2,277	2,593
繰延税金資産	2,562	2,373
その他	846	853
貸倒引当金	△26	△20
投資その他の資産合計	6,143	6,175
固定資産合計	45,885	44,659
資産合計	66,464	66,300

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	10,021	10,929
短期借入金	3,916	4,564
1年内返済予定の長期借入金	4,634	4,429
未払法人税等	454	716
賞与引当金	1,401	771
役員賞与引当金	—	62
ポイント引当金	3	3
店舗等閉鎖損失引当金	9	—
その他	2,856	3,195
流動負債合計	23,296	24,673
固定負債		
長期借入金	27,601	24,362
役員退職慰労引当金	770	789
役員株式給付引当金	177	192
退職給付に係る負債	2,938	3,203
その他	2,261	1,960
固定負債合計	33,749	30,507
負債合計	57,045	55,181
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,128	2,128
資本剰余金	1,183	1,182
利益剰余金	6,414	8,120
自己株式	△206	△225
株主資本合計	9,519	11,205
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△37	△51
繰延ヘッジ損益	△3	△5
退職給付に係る調整累計額	△60	△51
その他の包括利益累計額合計	△100	△108
非支配株主持分	—	21
純資産合計	9,418	11,119
負債純資産合計	66,464	66,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	78,943	78,167
売上原価	48,717	46,501
売上総利益	30,225	31,665
販売費及び一般管理費	28,997	28,892
営業利益	1,228	2,773
営業外収益		
受取利息及び配当金	9	8
業務受託料	69	55
設備賃貸料	76	72
雑収入	70	101
営業外収益合計	226	237
営業外費用		
債権売却損	39	39
支払利息	182	164
雑損失	23	36
営業外費用合計	246	240
経常利益	1,208	2,770
特別利益		
固定資産売却益	3	2
関係会社株式売却益	—	907
事業譲渡益	44	4
特別利益合計	47	914
特別損失		
固定資産売却損	1	19
固定資産除却損	4	7
減損損失	21	143
店舗閉鎖損失	18	20
その他	0	5
特別損失合計	45	196
税金等調整前四半期純利益	1,210	3,489
法人税、住民税及び事業税	641	1,233
法人税等調整額	242	245
法人税等合計	884	1,478
四半期純利益	326	2,010
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△2
親会社株主に帰属する四半期純利益	326	2,013

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	326	2,010
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△71	△14
繰延ヘッジ損益	2	△1
退職給付に係る調整額	5	8
その他の包括利益合計	△62	△7
四半期包括利益	263	2,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	263	2,005
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△2

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	74,636	2,056	2,128	122	78,943	—	78,943
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	603	—	—	603	△603	—
計	74,637	2,659	2,128	122	79,546	△603	78,943
セグメント利益 又は損失(△)	2,764	67	△38	△56	2,737	△1,508	1,228

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,508百万円には、セグメント間取引消去222百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,730百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	地域薬局 ネットワーク 事業	賃貸・設備 関連事業	給食 事業	その他 事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	74,365	1,755	1,874	171	78,167	—	78,167
セグメント間の内部 売上高又は振替高	2	439	—	—	442	△442	—
計	74,368	2,194	1,874	171	78,609	△442	78,167
セグメント利益 又は損失(△)	4,329	34	△2	△17	4,343	△1,569	2,773

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△1,569百万円には、セグメント間取引消去216百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,786百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社的一般経費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。